

登録コード	MA750100	開講年度	2026				
授業科目名	病態検査解析学				担当教員	矢崎 正英 他	
英文授業名	Diagnostic Laboratory Investigation				副担当	安尾 将法・山内 一由・松田 和之・松本 竹久・樋口 由美子・木村 文一	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・5時限 火曜・6時限	対象専攻／学年	病因・病態検査学領域／1年次
講義室	保健学科 2 2 1 講義室		授業形態	講義	授業科目区分		必須科目
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					
		MS 2 6 カリ(保健学), MS 2 5 カリ(保健学), MS 2 4 カリ(保健学), MS 2 3 カリ(保健学)					
		【保健学】国際的な諸問題に積極的に取り組み、共同研究や活動に参画できる能力を有する。			⇄	臨床検査に関する深い知識を得て、病態を解析し説明できる。	
(2)授業の概要		臨床検査成績から各種疾患の病態を解析するための方法論とその意義について学ぶ（オムニバス方式）。					
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）		各種疾患の病態を解析するための方法論を修得し、情報収集能力と情報分析能力を向上させる。					
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）		各種疾患の病態の基本的な事項およびその機序について説明できる。 臨床検査の意義が理解でき、さらに進めるべき検査について説明することができる。					
(5)授業計画		第1,2回（4/16, 4/23）：化学検査成績を呈示し、各種疾患の病態を解析するための方法論とその意義について教授する。（山内一由） 第3,4回（4/28, 5/12）：神経疾患の病態を解明するための方法論と意義について教授する。（矢崎正英） 第5,6回（5/19, 5/26）：感染性疾患の臨床微生物学的アプローチに必要な解析方法とその意義について教授する。（松本竹久） 第7,8回（6/2, 6/9）： 遺伝子（染色体）レベルでの変化・異常の理解に必要な方法論や結果の解釈について教授する。（松田和之） 第9,10回（6/16, 6/23） 細胞治療に関する方法論と意義を解説する。（樋口由美子） 第11,12回（6/30, 7/7）：呼吸機能検査成績を呈示し、病態を解析，診断するための方法論とその意義について解説する。（安尾将法） 第13,14回（7/14, 7/21）：病理組織細胞診断成績を呈示し，病理診断を導くための方法論とその意義について教授する。（木村文一） 第15回（7/28）：総合まとめ。（矢崎正英）					
(6)授業の進め方		臨床例等を呈示し，病態，検査の進め方と考え方，検査方法等を討論する。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容		担当教員がその都度，課題を提示する。事前に資料を確認する。					
(8)成績評価の方法		レポートの内容（50％）と討論への参加態度・内容（50％）を総合して評価する。					
(9)成績評価の基準		総合成績評価は、90-100：秀，80-89：優，70-79：良，60-69：可とする。 レポートに関しては、(i) 問題の設定が適切である。(ii) その問題の背景を説明できている。(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できている，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できている。(v) その上で自分の見解を提示できている。(vi). 教員を感心させるレベルにある。(i)から(vi)の6項目を満たしていれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」、4項目までできていれば「やや上にある（良）」、3項目までできていれば「合格水準にある（可）」と評価する。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応		図書館やITを利用して様々な医学・医療情報を収集して授業に臨むこと。 個別の相談は，事前の連絡によって随時，対応する。 (山内) e-mail; yamauchi@shinshu-u.ac.jp (矢崎) e-mail ; mayazaki@shinshu-u.ac.jpまたは内線3566 (松本) e-mail; tmatsumoto@shinshu-u.ac.jp (松田) e-mail; kmatsuda@shinshu-u.ac.jp (樋口) e-mail; sasa0922@shinshu-u.ac.jp (木村) e-mail ; kimura_f@shinshu-u.ac.jpまたは内線3567 (安尾) e-mail; yasumasa@shinshu-u.ac.jp					
【テキスト，教材，参考書】		主としてセミナー形式で行う。					